

公表

事業所における自己評価結果

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	0	・利用者が増えたため手狭に感じることもある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	0	・家族の体調を考慮し介入量の調整もできている。 ・十分に対応することを心がけ、保護者と話をする時間を確保している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	0	・手すりなどを設置している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	0	・定期的にシルバーさんに来てもらい園内の掃除をしてもらっている。 ・汚れに気づいたときに掃除している。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	1	・こどもに応じてクールダウンに使う部屋を確保するようにしている。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	0	・定期的に個々のこどもについてカンファレンスを行っている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	・随時、職員が意見を上司に伝えられる環境が整っている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	14	・第三者による外部評価は受けていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	6	・公認心理師、言語聴覚士、作業療法士それぞれの職域で研修に参加している。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	1	・ホームページで公開している。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0	・丁寧に聞き取りをし保護者と共有するようにしている。 ・専門職で情報交換がなされ支援計画に役立っている。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0	・目標に沿った情報交換が日々実施されている。 ・グループ単位で検討している。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	1	・定期的に発達検査を実施している。 ・標準化されたツールをうまく活用できないときがある。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0	・本人支援については5領域に分けて支援内容を検討している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	0	・事前のミーティングとその日の振り返りを毎回行っている。 ・毎回、立案にあたり事前の検討をチームで行い実施し、実施後の見直しを行う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	・グループや活動のねらいにより目的的に同じプログラムを繰り返し実施することはある。 ・毎回相談し、見直しを行っている。 ・活動プログラムは日々、月々に応じて変更、修正されている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0	・個別、集団の特徴と個人の特性を組み合わせで計画されている。 ・担当職員が計画に基づいて実施している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	・朝のミーティングばかりではなく、プログラム終了後、昼休みのミーティングを実施している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	0	・プログラムの内容について、毎回カンファレンスをしている。 ・次回に向けての変更点などその日の様子から立案している。 ・こどもと家族の様子を職員みんなで気かけ、支援終了後には、気になる点を共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0	・多職種間での連携を行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0	・必要に応じ医療との連携を行い、こどもの理解と療育に反映できるようにしている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	1	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	6	・モニタリングなどで連携はしているが、スーパーバイズや助言は受けていないため、今後は研修などに参加したいと思う。 ・関係機関との連携については、書面で行っている。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	10		

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 療育の終了後、日々情報交換をしている。 複数の事業所を利用する方が増えているので毎週の療育時、他の事業所の状況の聞き取りを行う。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けに、療育の中で行っている工夫や発達についての考え方、こどもの特性に合わせた対応について学習会を実施している。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 入園のしおりや重要児童説明書等を作成し説明をしている。 入園時に必ずオリエンテーションで説明をしている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> モニタリングを行い計画に反映させている。 個別に面談の時間を設定している。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 説明後、同意を得てサインをいただいている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 可能な範囲で助言をするように努力している。 必要時に医療機関の紹介を行い、連携を取って支援を進めている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	4	<ul style="list-style-type: none"> コロナ以降、きょうだい同士が交流する場は設けていないが、同じグループの保護者同士で交流できるよう配慮している。 きょうだい同士で交流する機会を設けるような支援はできていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ホームページはあるが、定期的な発信は特に行っていないため、今後の課題である。 あるが十分ではない。 通信発行やSNSはしていないが母子通園なのでその都度直接伝えている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	10	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民を招待はしていないが、地域に開かれた事業所を心がけている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	0	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練を年2回実施している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	1	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> 水分補給以外の飲食の機会は少ないが、食べ物を使う場合は、必ずアレルギーの有無を確認している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	0	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で共有をしている。

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的に研修会に参加し資質の向上に努める。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	9	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、身体拘束を必要とする子どもは在園していない。 ・身体拘束を行う場面はないが、今後施設等についての取り扱いについて今後検討をし、支援計画へ反映させていきたい。 ・口頭で保護者に伝え了解を得ているが、文書による記載はできていない。 ・支援計画の書式の見直しが必要と考えている。